



吹田
いきいき市民ネットワーク

No. **51**
2008. 04

議会だより

発行:吹田いきいき市民ネットワーク
中本みちこ 57000部発行
(印刷費1部当り 3.8円)
〒564-0880 吹田市泉町1-3-40
TEL 6384-1231(代表) FAX 4861-2493
E-mail : suita-ikiiki@yahoo.co.jp

平成20年度一般会計予算 歳入(収入) 計1056億6738万5千円

項目		対前年比
市税	650億2117万1千円	4.2%増
内 個人市民税	265億5717万円	2.6%増
内 法人市民税	68億6500万円	16.1%増
内 固定資産税	234億2700万円	3.6%増
譲与税・交付金	60億6300万円	13.4%減
使用料・手数料	22億5815万4千円	8.0%増
国庫支出金	120億2428万9千円	8.4%増
府支出金	50億7139万9千円	2.1%増
諸収入	28億8573万9千円	21.6%減
市債	26億5320万円	36.7%減
内 建設事業債等	16億5320万円	24.6%減
(*1) 内 臨時財政対策債	10億円	50%減
繰入金	95億8948万4千円	4.5%増
内 都市計画施設整備基金繰入金	23億8422万円	1603%増
内 廃棄物処理施設整備基金繰入金	30億円	122.2%増
(*2) 内 財政調整基金繰入金	39億円	22%減

平成20年度 予算審議が 終わりました



春から新緑へ。草花が美しい季節になりました。
政治の世界では、ねじれ国会の影響で、ガソリンの値下げ、日銀総裁選任など国会が迷走してしまっています。また、大阪府の改革が市町村にどのような影響を及ぼすのかわからない中、三月四日から二十八日まで、三月定例会が開催され、平成20年度予算を審議しました。

全国約一八〇〇弱ある市町村の中でも吹田市は財政的に恵まれた都市です。しかし、平成20年度予算、歳入が市債を除いて前年と比べ約二〇億円の増収であるにもかかわらず、臨時財政対策債(*1)を一〇億円発行し、財政調整基金(*2)を三九億円の取り崩さなければ財源不足という予算案が提示されました。

*1 臨時財政対策債

財源不足を補てんするため平成一三年から特例的に認められた赤字地方債。(単純に借金です)

*2 財政調整基金

「基金」とは、地方公共団体における預貯金のようなもの。年度間における収支を調整するための基金が財政調整基金。

質問 持続可能な吹田市を考えたとき、このように危機感のない予算編成でよいのか?

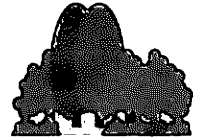
答え 歳入の最大限の確保を図り、歳出は継続事業の徹底した見直しと、普通建設事業について厳しく精査し、経費の削減を図ってきた。中期の財政運営の観点から、市債は、将来世代に負担の先送りとならないよう、赤字地方債の発行を極力抑制し、建設事業債の発行も、元金償還額以下に抑制するなど、市債残高の更なる削減を図っている。

いきいき学習会報告「すいたの緑はどう守る？公園管理の実際を知ろう」

2月23日に開催した「いきいき学習会」に20名あまりの方にご参加いただきました。当日は、緑化公園室の職員の方に吹田の緑の現状をご説明いただいた後、質疑を行いました。

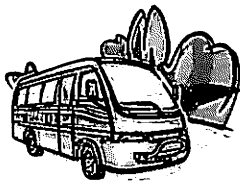
“公園のごみについて” “吹田操車場跡地のみどりについて” “吹田市のみどりの配置”、地球温暖化や多様な生物の生存という観点から“吹田市のみどりの質はどのように考えられているのか”など、幅広い質問と意見が出ました。

3月議会では、この学習会の意見を参考に、世界的な温暖化の観点から『吹田でも多様な生物が生息する、みどりのあり方を考えるべき』『まずはデータをとること』『専門家組織の設置を』と訴えました。



人と自然の共生を考える エコロジー満喫ツアー

いきいき
市民視察



毎年実施しております、いきいき市民視察バスツアー。今年は、自然と共生をテーマに実施いたします。自然に囲まれてマイナスイオンを満喫する。そして、地球温暖化やみどりの問題について考える。そんな機会にしたいと思います。ぜひ、ご参加ください！！

と き：7月6日(日) 午前9:00～午後5:00ごろ

場 所：KIRINピアパーク神戸 ビオトープツアー

<http://www.kirin.co.jp/about/brewery/factory/kobe/index.html>

兵庫県立 人と自然の博物館

<http://www.hitohaku.jp/index.html>

参加費：4000円程度(昼食代込み)

申込み：FAXまたはEメールで6/20(金)までにお申し込みください。

参加の方には追って詳細をご連絡いたします。

FAX 06-6878-1452 / Eメール nakapon315suitsa@nifty.com

中本みちこ会計報告(H20/1月-3月)

職員報酬 1,993,693 前月繰越金 394,252

内訳 ●850,000×3ヵ月

●利息43 ●審議会6回 43,850

支出 1,956,669

事務所 生活費 750,000

家賃 220,500 (25万円×3ヶ月)

光熱費 10,140 税金 325,800

通信費 184,913 保険・年金 199,300

人件費 32,000

事務雑費 33,248

活動費 126,380 繰越金 181,276

交通費 224,390 積立金 100,000

＊ ＊なんでも市民相談＊ ＊
お気軽にお越しください！

5月8日(木)午前 10時～ 15時

(その他の日程をご希望の場合は、お電話を
ください。留守の場合は、お手数ですがメッ
セージを録音して下さい。)



中本みちこ 事務所 いきいきステーション

〒565-0831 吹田市五月が丘東9-12メゾン南千里102号

Email nakapon315suitsa@nifty.com(メールアドレスが変わりました)

TEL 06-4864-2874 FAX 06-6878-1452

ホームページ <http://nakapon-news.com>(ブログ日誌更新中)



平成20年度一般会計予算 歳出(支出)内訳

項目		構成比	対前年比
人件費	283億4446万8千円	26.8%	2.8%減
物件費	178億8467万8千円	16.9%	3.8%減
扶助費	160億6043万2千円	15.2%	0.5%減
補助費等	86億8308万3千円	8.2%	28.7%増
普通建設事業費	111億2384万8千円	10.5%	59.0%増
公債費	83億2633万3千円	7.9%	8.2%増
繰出金	118億4405万9千円	11.2%	9.6%減
貸付金	5億1100万円	0.5%	61.2%減

人件費…職員給与、退職金、議員報酬などの経費

物件費…臨時職員賃金、旅費、消耗品費、委託料などの経費

扶助費…生活保護、就学、福祉医療など生活援助のための経費

補助費…広域で実施する事業負担金や各種団体などへの補助金

公債費…自治体が借り入れた地方債(借金)の返済にかかる経費

繰出金…別会計の国民健康保険、下水道事業や基金への支出

一頁に歳入の状況をあらわしました。次に、入ったお金をどう使うかということですが、左の表に歳出(支出)に関して内訳を示しました。聞きなれない行政用語でわかりにくいと思います。下段に簡単な説明を加えました。予算書には、吹田市で行う事業ごとに、いくら費用がかかるかが示されており、これを元に審議します。(予算書

は、事務所にあります。また、吹田市の情報公開課でも閲覧できます。) 議員は四つの常任委員会に別れ、担当分を細かく審議します。中本は、福祉環境常任委員会所属のため、市民病院、環境部、児童部、福祉保健部の予算について審議しました。以下、中本の意見(抜粋)です。

環境部

ごみ減量に関しては、家庭系事業系ともに減量への啓発に努めているが、家庭系ごみ収集運搬契約料金が北摂各市と比較して高いので見直しを要望する。ごみ袋無償配布廃止の検討を。

児童部

子育て支援に関して、つどいの広場、福祉委員会、保育士、保健師、主任児童委員など様々に取り組んでいたが、サークル活動等、自主グループも地域との連携が取れる仕組みの検討を。

福祉保健部

介護保険給付が毎年増加している。介護予防事業への取り組み強化が必要である。地域で自発的に助け合いのできる仕組み作りについて、先進地域の研究と検討を。全国トップレベルの受診率を誇る基本健診と同じく、死亡率の高いがん検診の受診率アップへ、医療機関と連携して努力を。



平成20年度 特別会計予算

会計名	(千円)
国民健康保険	31,696,265
下水道	12,668,039
部落有財産	1,351,713
交通災害・火災等共済	128,388
勤労者福祉共済	39,890
老人保健医療	4,502,275
自動車駐車場	197,149
介護保険	17,185,432
後期高齢者医療	3,363,804
計	71,132,955

特別会計とは、国民健康保険料金や駐車場料金など、税収入以外の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別するため、法律や条例に基づいて設置しているものです。

市民病院

二億六千万円の赤字予算となつている。市民病院においては、経営健全化計画を策定し、一定の努力をなされていることは理解するが、今年度、見込み通りの収益を確保し、一層の費用削減への努力を期待する。また、公的病院のあり方を考える上、救急医療、感染症医療等、災害医療を第一の使命と掲げるなら相応の体制整備が必要と考える。

以上の意見を述べて、予算案に賛成しました。



しかし、最初に述べたように、吹田市の財政力を考えれば、支出の見直しを厳しくし、財政調整基金や赤字地方債の発行をしなくても良い予算にすべきと考えます。将来世代への負担を軽減するためにも、安易な借金はやめるべきです。また、早急に中期の財政状況と今後の財政計画を市民の皆さんにわかりやすく公開していくことが必要です。

3月議会 報告 個人質問

大阪府の橋下知事就任以来、日々の言動が話題となっています。知事は外郭団体への府職員OB派遣について見直しを検討するとのこと。中本も平成一七年、平成一八年議会で職員の定年退職後再任用と民間からの採用について質問しています。

質問

平成一七年の時点では、

外郭団体役員、一般職員 四六人

公的施設等(館長、職員) 六三人

計一〇九名が就労とのことだったが、現時点の状況は？

答え

平成二〇年三月一日現在、

外郭団体役員、一般職員 五四人

公的施設等(館長、職員) 六四人

計一一八人が就労

質問
平成一八年度の答弁では、「平成二〇年度以降については、管理職員も含めて退職時の職場以外での再任用など、そのあり方を検討し、民間出身者の採用についても検討する」とのことだったが、その後どのような検討がされているのか？

答え

再任用制度については、これまで、課長代理級以下を対象に実施してきた。平成二〇年度から、管理職員を対象に退職時の職場にこだわらず、これまで培ってきた技術や知識、経験を生かせる職場での再任用を行う予定。

職員OBの再任用見直し検討を!



職員OBの再任用。いわゆる天下りの問題について、平成17年から指摘し続けていますが、見直しは行われていません。公務員を排除するために主張しているわけではありません。児童館や歴史施設、リサイクルプラザなど、より市民に近いところで、民間OBの知恵を生かすことが、協働をすすめることにもつながるのではないのでしょうか？



市の関連施設は職員OBの既得権益の及ぶ職場とせず、公募による選任を求めます。

退職者の再雇用に関する背景として、平成一八年四月一日付で高年齢者等の雇用の安定等に関する法律が改正され、高年齢者の安定した雇用を確保する義務が事業主に課される等の社会情勢もある中で、退職者の再雇用の全体的なあり方について、民間経験者の採用も含め、関係部局とともに整理していきたいと考えている。

シンクタンク "まちづくり政策研究所" いかなるものか?



質問
今年度、まちづくり政策研究所に予算九九三万一千円が計上されている。一体、どんな体制で、どんな権限を持って、何を研究し、結果をどう活かすことを想定しているのか？

答え

(仮称)まちづくり政策研究所は、市民、学識経験者、市職員の英知を結集し、市に政策提言を行うもので、平成二〇年度の開設をめざしている。

現時点での案は、政策研究所を、市民の地域ニーズを的確に反映した具体的かつ独自の性に富み、政策実現性の高い政策研究に取り組む市

民参画型の自治体シンクタンクとして位置づけている。体制は、研究所を統括する「所長」を含む学識経験者等で構成する「企画運営委員会」で研究方針や運営方針を決定し、市民、学識経験者、市職員で構成する「研究チーム」で研究活動を行うことを想定。

研究テーマは現在未定。庁内外から募集し企画運営委員会決定する予定。市へ提言された研究成果を政策実現するにあたっては、実施計画等の政策決定過程の手続きを踏んだ上で、進めていく予定。

みなさん“まちづくり政策研究所”のイメージがつかめましたか？市民協働、参画を進めることには賛成ですが、自治体が、内部にシンクタンクをもつことは、一つ間違えば、一部の市民の意見が政策に大きく反映されることとなります。提言は政策決定過程の手続きを踏む、つまり幹部の会議にかけるとの回答ですが、しっかり見ておかないといけません。

